

アクセスマップ

新潟は全国からのアクセスもバッチリ!

ACCESS  
MAP

 新幹線	東京	新潟 (上越新幹線)	約2時間 (最速で1時間40分)
		越後湯沢 (上越新幹線)	約1時間20分
		上越妙高 (北陸新幹線)	約1時間50分
 飛行機	新潟空港	札幌 (新千歳空港)	約1時間30分
		名古屋 (小牧空港)	約1時間5分
		大阪 (伊丹空港)	約1時間5分
		福岡 (福岡空港)	約1時間30分
 自動車	東京 (圏外IC)	新潟 (新潟中央IC)	約3時間30分
		湯沢 (湯沢IC)	約1時間50分
		上越 (上越IC)	約3時間20分



問い合わせ先

CONTACT

新潟県立新発田病院



教育研修センター

〒957-8588  
新潟県新発田市本町1-2-8  
TEL:0254-22-3121  
E-mail:kensyu-center@sbthp.jp  
URL:https://www.sbthp.jp/

新潟県立中央病院



庶務課 臨床研修担当

〒943-0192  
新潟県上越市新南町205  
TEL:025-522-7711  
E-mail:shomu@cent-hosp.pref.niigata.jp  
URL:https://www.cent-hosp.pref.niigata.jp/

新潟県立十日町病院



庶務課

〒948-0065  
新潟県十日町市高田町3丁目南32-9  
TEL:025-757-5566  
E-mail:shomu@tokamachi-hosp-niigata.jp  
URL:https://www.tokamachi-hosp-niigata.jp/

新潟県立がんセンター新潟病院



庶務課 臨床研修担当

〒951-8566  
新潟市中央区川岸町2-15-3  
TEL:025-266-5111  
E-mail:kensyu@niigata-cc.jp  
URL:https://www.niigata-cc.jp/

新潟県立新発田病院 教育研修センター

〒957-8588 新潟県新発田市本町1-2-8 電話:0254-22-3121 (内線2566・2563)  
E-mail:kensyu-center@sbthp.jp

令和8年3月発行 第9版

あなたの成長を、  
病院の誇りに。

Clinical  
Resident  
Recruitment  
Guide

2027年度 新潟県立病院  
臨床研修医募集のご案内



# はじめに

Introduction



教育研修センター長  
長谷川 聡



新潟県は東西・南北ともにとて長く、海・山・平野といった地形、気候、住民の年齢構成、人口密度、地場産業などが地域によって大きく異なります。新潟県内には、このような各地域の多様な特性やニーズに合わせた、特色ある10もの県立病院と診療所があります。

二次医療圏の基幹病院、医療資源の少ない地域で24時間365日地域の急患診療を行う中核病院、中山間地域で訪問診療・訪問看護を担う病院や診療所、専門医療において県の基幹的機能やセンター的機能を担う病院など、それぞれに様々な医療機能を担っており、規模も様々です。

このように多種多様な環境で臨床研修を行うことにより、プライマリ・ケアから高度急性期医療、専門医療まで、幅広い診療経験を積むことができます。

新潟県立病院では、基幹型臨床研修病院の4病院を中心に、臨床研修をはじめとする医師の研修教育を県立病院の重要な役割と位置づけて、患者さんの視点に立った全人的医療を実践できる医師を育成しています。

## 教育研修センター

平成30年4月、新発田病院に「教育研修センター」が開設されました。

教育研修センターは、県立病院間で研修に関する情報共有を進め、新発田病院のみならず県立病院での研修・院内教育の充実を図り、各病院における研修環境の向上に努めています。臨床研修においては、新発田病院での臨床研修のマネジメントや、指導医・研修医の研修病院間での交流、情報交換を促進しています。



# 新潟県立病院の基幹型臨床研修病院

## 新潟県立新発田病院

新潟県北部の救命救急医療と高度先進医療を担う基幹病院



- 救命救急センター ●地域医療支援病院
- 地域がん診療連携拠点病院 ●地域周産期母子医療センター
- 災害拠点病院

診療科目	内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、精神科、脳神経内科、放射線科、脳神経外科、麻酔科、呼吸器外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、救急科、病理診断科、歯科口腔外科、リウマチ科(計:25診療科)
病床数	519床(一般450床(NICU6床を含む)、精神45床、感染症4床、救命救急20床(ICU4床、ECU16床を含む))
病棟数	一般病棟10病棟、精神病棟1病棟、救命救急1病棟
アクセス	[電車] JR新発田駅 改札を出てすぐ [車] 日本海東北道 聖籠新発田ICから約10分

## 新潟県立中央病院

新潟県南西部・上越医療圏内での診療の完結を目指す基幹病院



- 救命救急センター ●地域医療支援病院
- 地域がん診療連携拠点病院 ●地域周産期母子医療センター
- 災害拠点病院

診療科目	内科、循環器内科、脳神経内科、消化器内科、小児科、外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、精神科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、形成外科、病理診断科、救急科(計:24診療科)
病床数	530床(一般504床、感染症6床、救命救急20床(集中治療室12床、ナイトベッド8床))
病棟数	一般病棟10病棟、救命救急1病棟
アクセス	[電車] えちごトキめき鉄道 高田駅からバスで約15分 [車] 北陸道 上越ICから約10分

## 新潟県立十日町病院

24時間365日ER型救急に対応する越後妻有の中核病院



- 災害拠点病院 ●へき地医療拠点病院

診療科目	内科、脳神経内科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科(計:16診療科)
病床数	250床
病棟数	一般病棟5病棟
アクセス	[電車] JR・北越急行十日町駅から徒歩8分 [車] 関越道 六日町ICから約20分

## 新潟県立がんセンター新潟病院

がんの高度先進医療に取り組む新潟県のがん診療における拠点病院



- 都道府県がん診療連携拠点病院

診療科目	内科、消化器内科、脳神経内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、婦人科、頭頸部外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、精神科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、歯科口腔外科 (計:24診療科)
病床数	367床
病棟数	一般病棟8病棟
アクセス	[電車] 白山駅から徒歩1分 [車] 磐越道 新潟中央ICから約10分

## 臨床研修医向けセミナー・研修会

2025年度

### 新発田病院 研修医向けセミナー・研修会等

開催月	研修内容
4月	●モーニングカンファレンス (グループ症候群/気胸/頸椎損傷) ●救急外来症例検討会 ●BLS研修
5月	●モーニングカンファレンス (消化管穿孔-腹膜刺激徴候とCT画像- / 小児の腹痛 / 頭部外傷 / 初期対応ABCDのA / / 尿管結石緊急症 / 脳梗塞の初期対応 / 感染性胃腸炎の対応) ●救急外来症例検討会 ●シーネの巻き方セミナー ●救急外来での小児診療セミナー ●CVCセミナー ●ICLS研修
6月	●モーニングカンファレンス (肺血栓塞栓症/救急外来における気管支喘息/高カリウム血症 / 糖尿病性ケトアシドーシス / 痙攣の初期対応 / 小児の嘔吐と肥厚性幽門狭窄症 / 非閉塞性膵膵虚血 / 急性動脈閉塞症AAO・急性下肢動脈閉塞症ALI) ●救急外来症例検討会 ●心電図の読み方セミナー ●手指衛生セミナー ●MRI安全講習会
7月	●モーニングカンファレンス (化膿性脊椎炎/異所性妊娠/頭部外傷の止血/咽頭異物/入院におけるせん妄の対応/気胸/oncology emergencyとしてのMSCC/血液ガス分析/創傷処置の基本/急性肺炎) ●救急外来症例検討会
8月	●救急外来症例検討会 ●災害医療座学(災害について)
9月	●モーニングカンファレンス (徐脈性不整脈/咯血の対応/腰痛症/誤飲/小腸閉塞/ELVO / 副鼻腔真菌炎/カテコラミン製剤) ●救急外来症例検討会
10月	●モーニングカンファレンス (黄疸を見たら/急性心不全/COPD急性増悪/救急外来での肩関節脱臼の対応/くも膜下出血/フェンタニルの使い方/急性胆嚢炎/不安定狭心症/小児のアナフィラキシー) ●救急外来症例検討会 ●災害医療座学 (あなたが担当するかもしれないトリアージとは) ●緩和ケア研修会
11月	●モーニングカンファレンス (脳出血とCTAの適応/NSTE-ACS / 腹部X線画像の見方/肝細胞癌破裂/ERでみるOver dose / 救急外来での気管支喘息/腹痛をきたす後腹膜疾患/メディカルコントロール) ●救急外来症例検討会 ●災害医療座学 (BCPってなんだろう 新発田病院の災害に対する設備について) ●災害医療座学(災害時のホスピタリティ 食事と精神的支援) ●ACP講演会
12月	●モーニングカンファレンス (非けいれん性てんかん重積/外傷性腸管・膵膵損傷/大動脈解離/肺血栓塞栓症/急性腎障害/頸椎・頸髄損傷/インフルエンザ脳症を見逃さないために/甲状腺クリーゼ) ●救急外来症例検討会
1月	●モーニングカンファレンス ●救急外来症例検討会
2月	●モーニングカンファレンス ●救急外来症例検討会 ●臨床研修医による研修成果発表
3月	●モーニングカンファレンス ●救急外来症例検討会

2025年度

### 新潟県立中央病院 研修医向けセミナー・研修会等

月2・3回の割合で30～60分程度のセミナーを開催しています。年度毎にテーマを設けていて、2025年度のテーマは「救急外来で役立つ知識・技術」でした。

開催月	研修内容
5月	●胸部単純写真の読み方【放射線診断科】 ●「ELVO陽性」だって。脳外科っていつ呼ぶの?【脳神経外科】 ●てんかんについて【脳神経内科】
6月	●皮膚縫合【形成外科】 ●シーネのあて方【整形外科】 ●CKD管理での注意点【腎・膠原病内科】
7月	●PALS(小児二次救命処置法)【小児科】 ●低Na血症【内分泌・代謝内科】
8月	●凝固と血栓【血液内科】 ●消化管出血と内視鏡的止血術【消化器内科】 ●病状説明【腎・膠原病内科】
9月	●急性腹症診療におけるガイドラインの改訂【外科】 ●心電図について【循環器内科】 ●救急外来での皮膚疾患とその対応について【皮膚科】 ●セカンドオピニオン【がん看護専門看護師】
10月	●救急外来で役立つ眼科の知識【眼科】 ●臓器移植と虐待【小児科】 ●泌尿器科の救急診療【泌尿器科】 ●呼吸器内科の救急診療【呼吸器内科】
11月	●大動脈緊急症【心臓血管外科】 ●救急外来で遭遇する呼吸器外科疾患【呼吸器外科】
12月	●めまいについて【耳鼻咽喉科】
1月	●顎口腔領域の疾患について【歯科口腔外科】 ●救急外来での挿管【麻酔科】 ●前駆病変【病理診断科】
2月	●異物誤飲【小児外科】 ●女性の腹痛と、妊産婦の画像検査【産婦人科】 ●"Oncologic emergency～緊急照射が必要な病態を中心に～"【放射線治療科】

この他 外傷コース研修(11月・2月)、ICLS研修(4月)、CVC研修(2月)、緩和ケア講習会(10月)、成果発表会(11月・2月)等を実施しています。また、上越総合病院・糸川川総合病院・柏崎総合医療センターと当院で構成している「RESIDENT CIRCLE 不識庵」にて年に数回、合同の研修会を実施しています。

2025年度

### がんセンター新潟病院 研修医向けセミナー・研修会等

「研修医スキルアップセミナー」を月数回、夕方15～30分程度で実施しています。各診療科の指導医が、初期研修医向けのレクチャーや実技指導を行い、少人数で学べる機会となっています。

開催月	研修内容
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	【研修医スキルアップセミナー】 ●腹部エコー(消化器内科) ●気胸(呼吸器外科)
9月	【研修医スキルアップセミナー】 ●がんに合併する脳梗塞について(脳神経外科) ●縫合・腹痛・イレウス(消化器外科)
10月	【研修医スキルアップセミナー】 ●転移性脳腫瘍の診断と治療(脳神経外科)
11月	【研修医スキルアップセミナー】 ●エコーガイド下血管穿刺(麻酔科)
12月	【研修医スキルアップセミナー】 ●耳鼻科救急疾患について(頭頸部外科)
1月	【研修医スキルアップセミナー】 ●抗がん剤の薬疹、薬剤障害(皮膚科) ●縫合(形成外科)
2月	
3月	

## 待遇について

身分	会計年度任用職員
研修手当	基本給：(1年次)350,000円/月 (2年次)400,000円/月 宿日直手当：(1年次)11,250円/回 (2年次)22,500円/回 ※時間外勤務手当、通勤手当、住居手当
勤務時間	8:30～17:15 ※当直17:15～翌8:30 / 日直8:30～17:15
当直	3～4回程度/月 ※当直回数は病院によって異なります。
休暇	年次休暇等の各種有給休暇
社会保険・労働保険	医療保険(地方職員共済組合短期給付) 厚生年金保険 災害補償(1年次)労働者災害補償保険法の適用 (2年次)地方公務員災害補償法の適用 雇用保険
健康管理	健康診断あり
医師賠償責任保険の扱い	医師賠償責任保険 団体保険病院加入 個人加入は任意
外部の研修活動	学会、研究会等への参加可 学会、研究会等への参加費一部支給

よくある質問

## Question

Q 給与は月どのくらいでしょうか？

A 基本給以外は人によって実績が異なりますので増減がありますが、当直3回、時間外勤務30時間の場合、基本給+当直手当+時間外勤務手当を合わせると、1年次46万円程度、2年次55万円程度です。

Q 研修医のための宿舎はありますか？

A 新潟県立病院の研修では、病院で借上宿舎を準備します。(宿舎には規定により算定した貸付料がかかります。)また、新潟県立病院では、採用時に引越費用が支給されますので、県内・県外を問わず安心して新潟県立病院にお越しください。

# 新潟県立 新発田病院 臨床研修プログラム

## 県内有数の救急搬送対応と17診療科を研修し、 医師人生の自信に。

新潟県立新発田病院の臨床研修プログラムは17診療科すべてを回るスーパーローテーション方式を採用しており、すべての科の特徴、プライマリ・ケアを学び、今後の医師人生に生かすことができます。年間6,000台の救急車を受け入れており、多くの救急症例に接することができます。

また、開催回数1,500回を超えたモーニングカンファレンスや救急症例検討会、縫合・シネ訓練などカンファレンスも充実しています。研修医は戦力と考え、実践的な指導をしていますので、充実した忙しさを求める研修医には最適な環境です。働き方改革も実施中です。

### 研修ローテーション例

1年次	OR 1週	消化器 内科 4週	呼吸器 内科 4週	腎/代謝内 分泌内科 4週	血液 内科 4週	救急科 4週	循環器 内科 4週	脳神経 内科 4週	小児科 4週	産婦人科 4週	外科 4週	脳神経 外科 4週	整形 外科 4週	地域医療 (一般外来) 3週 (十日町・松代)
2年次	地域医療 (一般外来) 1週 (十日町・松代)	麻酔科 (救急科) 4週	精神科 4週	地域医療 (一般外来) 4週 (坂町)	自由選択 39週									

※救急は、救急ブロック研修4週と麻酔科研修4週に加え、各分野をローテーション中に1か月3回程度の日当直で2年間合計約60日の並行研修を行います。  
※一般外来は、地域医療における県立坂町病院、県立十日町病院、県立まつだい診療センターでの外来を担当します。

### 研修環境

#### 院内での食事

院内にはレストラン、売店、ベーカリーがあり職員割引もあります。豊富なメニュー、品揃えの中から毎日の食事を楽しめます。焼きたてのパンも魅力的です。



#### 新発田病院の立地

新発田市は新潟市に隣接する阿賀北の中核都市です。全国的にも有名な月岡温泉や、四季を通じて楽しめる山から海までの豊かな自然など、観光資源も充実していますので研修合間のリフレッシュも楽しめます。



### 救急外来の状況

受診総数  
年間 **15,000** 件

CPA 年間200件    ACS 年間100件    脳卒中 年間500件

### 救急医療の実績 (2024年度)

- 1年間の救急車受入数 6,159件 (7割の4,316件が時間外受入)
- 手術 5,043人/年    ●直接来院 5,576人/年
- 小児科症例 1,296人/年    ●緊急内視鏡 230件/年
- 緊急心臓カテーテル130件/年



### 協力病院・協力施設

#### 地域医療

- 新潟県立坂町病院
- 新潟県立まつだい診療センター

坂町病院での地域医療研修は、新発田病院から急性期の治療を終えた患者を紹介することの多い病院での研修です。1年次には指導医と診療に臨むことが多いため、指導医の指示を待つばかりという場面も出てきてしまうのですが、坂町病院の実習では治療方針や患者への説明も含め指導医に任せられる場面が多かったです。週1回の訪問診療にも同行させてもらえるため、新潟県の県北地域の医療がどのようなかまわめて感じることができました。

#### 自由選択

- 新潟大学医学総合病院
- 魚沼基幹病院
- 村上総合病院
- 新潟県立十日町病院
- 新潟県立がんセンター新潟病院
- 新潟県立中央病院
- 新潟県庁福祉保健部



### 指導医メッセージ

Message from the Supervising Physician

#### N. Tanaka

よくハイパーと言われる新発田病院ですが、研修医はみんな明るく生き生きと働いてくれています。指導医も優しく、熱い。多くの経験は自信と安心につながります。私たちの仲間になってくれる先生をお待ちしています。

院長 田中 典生

#### H. Kinoshita

新潟県北部の「阿賀北」と呼ばれる地域(人口約25万人)の基幹病院として位置づけられている当院は、救急医療の最後の砦として職員の意思統一が図られており、働きやすい環境です。軽症から重症まで症例が豊富で初期研修には最適と自負しています。

救命救急センター長 木下 秀則

### よくある質問

## Question

**Q** 救急外来での研修と当直について教えてください。

**A** 月3回程度の日当直で1年目からファーストタッチを行います。平日の当直明け勤務は午前で終わり、午後から退勤となります。内科系、外科系、救命センター、小児科、管理当直(院内急変・災害等対応)の5人が必ず在院し、そのうち内科系、外科系は救急外来にほぼ常駐して研修医の指導にあたっています。全医師を対象に、モーニングカンファレンス(週2回)や救急外来症例検討会(週1回)を開催して、研修医の疑問に答えるよう努めています。

意欲ある研修医を求めています。  
病院見学随時募集中!

### 2027年度募集案内

新潟県立新発田病院  
https://www.sbthp.jp/

募集人員	10名	選考方法	面接
申込書類	研修申込書、身上申告書 病院ホームページhttps://www.sbthp.jp/からダウンロードできます。		
応募締切	2026年7月末日		
面接日	2026年8月19日(水)、20日(木)		
応募先	新潟県立新発田病院 教育研修センター TEL 0254-22-3121 mail kensyu-center@sbthp.jp		

#### 臨床研修リクルートサイト

https://sbthp-resident.jp



instagram

# 新潟県立 中央病院群 臨床研修プログラム

希望に沿ったフレキシブルな研修プログラムで、  
理想の医師像を追求。

多様化する医療現場で、医師にはプロフェッショナリズムが求められています。

新潟県立中央病院は、これから医師としてのキャリアを始める皆さんが充実した体制で初期研修を行えるよう病院全体で取り組んでいます。

## 上越医療圏の最後の砦・充実した救急研修

- 救命救急センター(集中治療室12床、ナイトベッド8床)、無菌治療室(7床)、人工透析室(40床)
- 高度医療機器:CT、MRI、ガンマカメラ、PET-CT、リニアック、体外衝撃波結石破碎装置、人工関節手術支援ロボット[ROSA® Knee System]など

## 研修ローテーション

本院の研修プログラムでは、研修病院と研修科を自由に選択して自由選択研修(44~48週)を組み立てることができます。二次医療圏の基幹病院である本院は、救急医療、がん医療、脳血管障害、小児・周産期医療などにおいて地域の医療連携の拠点病院の役割を担っていますし、内科学会、外科学会など

18の学会指定教育病院となっており、診療科がそろっています。加えて、協力病院・協力施設を充実させて病院群を構成していますので、希望に沿った研修が可能です。

1年次	内科 24週	救急 12週 ※うち麻酔科 4週	小児科 4週	外科 4週	産婦人科 4週	精神科 4週
2年次	地域医療 4週	自由選択 44~48週				

※必修科目:内科(24週)、救急・麻酔科(12週)、小児科、外科、産婦人科、精神科、地域医療(各4週)、一般外来研修(内科研修・小児科研修・地域医療研修と並行研修)4月に1週間のオリエンテーションがあります。

## 研修環境



若手医師専用医局

研修医だけでなく年の近い上級医が身近にいるので何でも相談できる!  
個人専用デスク(インターネット接続可能)  
電子カルテ用PC(7台)  
仮眠ベッド(研修医専用医局内に個室3室)



図書図書室

図書・文献  
医局図書室の利用時間は平日7:00~20:00/図書・文献は24時間閲覧可能/単行書4,500冊/製本雑誌5,000冊/和雑誌44種類(オンライン含む)、洋雑誌24種類(オンライン含む)/Up To Date、文献データベース(メディカルオンライン、医中誌)



院内での食事

院内レストランあり!  
和食・洋食・中華など豊富なメニューを楽しめます。また、職員割引もありお得に食事ができます。売店では沢山の種類のお弁当があります。



県立中央病院の立地

海も山も近く都市部にもアクセスが容易!  
春にはお花見、夏は海、秋は紅葉、冬はスキー・スノーボードなどアウトドアライフを楽しむには絶好の土地です。温泉も近くにあるのでリフレッシュするには最適です。「日本三大夜桜」の一つに数えられる高田城址公園は病院から徒歩で行けます。新幹線駅もあるので関東方面へも短時間で行くことができます。onもoffも充実できる研修環境です。

## 救急研修の特徴

本院の研修プログラムでは、研修病院と研修科を自由に選択して自由選択研修(44~48週)を組み立てることができます。二次医療圏の基幹病院である本院は、救急医療、がん医療、脳血管障害、小児・周産期医療などにおいて地域の医療連携の拠点病院の役割を担っていますし、内科学会、外科学会など

学会など18の学会指定教育病院となっており、診療科がそろっています。加えて、協力病院・協力施設を充実させて病院群を構成していますので、希望に沿った研修が可能です。



院長 田部 浩行

- 救命救急センターを併設しており、1次救急~3次救急まで幅広い症例に対応しています。救命救急センターや救急外来での日当直を通じて救急研修を行います。
- 救急外来では救急専門医による直接指導体制で初期治療研修を行います。
- 1年次の前半は当直医及び当直研修医とともに「副直」(17:15~24:00)として救急診療にあたります。後半以降は「研修医当直」として勤務し、ファーストコールは研修医が対応します。  
※当直は内科系、外科系、本院当直の3人体制を組んでいます。
- 他科で勤務中の研修医にも直ちに連絡できる体制があるので、幅広い救急患者の中から興味深い症例等を豊富に経験できます。
- 救命救急研修には麻酔・心肺蘇生・挿管技術も含まれています。
- ICLS、外傷コース研修は院内で研修できます。

## 協力病院・協力施設

### 地域医療

- 新潟県立妙高病院 ●新潟県立柿崎病院 ●新潟県立十日町病院 ●上越地域医療センター病院
- 滋賀家庭医療学センター

### 精神科

- 国立病院機構さいがた医療センター ●高田西城病院 ●川室記念病院

### 自由選択

- 新潟大学医歯学総合病院 ●富山大学附属病院 ●新潟県厚生連上越総合病院 ●新潟県厚生連糸川総合病院
- 魚沼基幹病院 ●新潟県立がんセンター新潟病院 ●新潟県立新発田病院 ●新潟県庁福祉保健部

## 指導医メッセージ

Message from the Supervising Physician

### T.Kijima

医療はますます複雑高度化し、私たち医療者に求められるものも日々進化しています。本院では多彩な疾患を経験できますが、対峙するのはありのままの患者さん自身です。初期研修を修了した後の長い医師人生においても、皆さんが患者さんやその周囲に向き合い、自分自身で考え、行動し、さらに成長し続けるための基礎力を培えるよう、職員皆で全力でサポートします。ぜひ本院で、医師人生の大切な一歩を踏み出してください。

副プログラム責任者 木島 朋子



ぜひ一度、病院実習または見学にお越しください。

新潟県立中央病院

<https://www.cent-hosp.pref.niigata.jp/recruit/rinsho/>

## 2027年度募集案内

募集人員	マッチング募集定員11名(予定) ※うち新潟県イノバーター枠1名
選考方法	面接
申込書類	研修申込書、エントリーシート、論文(400~800字) ※2025年度論文テーマ「印象に残った医療・医師について」 研修申込書、履歴書は病院ホームページからダウンロードできます。 <a href="https://www.cent-hosp.pref.niigata.jp/recruit/rinsho/">https://www.cent-hosp.pref.niigata.jp/recruit/rinsho/</a>
応募締切	2026年8月上旬
面接日	(予定)2026年8月上旬~9月上旬
応募先	新潟県立中央病院 庶務課 臨床研修担当 TEL 025-522-7711 mail shomu@cent-hosp.pref.niigata.jp

よくある質問

## Question

Q 県立中央病院の救急患者はどれくらいですか?

A 救急医療では年間約9,000件の患者さんを受け入れています。救急車受入数は約5,600件、その約7割が時間外受入です。

# 新潟県立 魚沼地域病院群 臨床研修プログラム (新潟県立十日町病院)

十日町地域の7割以上の救急搬送を受け入れる地域密着型の中核病院

- 1年間の救急車受入数 約2,200件 (6割以上が時間外受入)
- 救急外来患者数 約7,000人
- 新規患者数 12,000人以上 (8割近くが紹介状を持たない新規患者)

## 地域密着型の救急症例の経験を、医師としての礎に

当院は、越後妻有(えちごつまり)地域と呼ばれる新潟県南部の十日町市・津南町及び長野県栄村に暮らす約6万人の命を預かる地域中核病院です。日常診療で経験すべきほぼ全ての症例をファーストタッチから網羅的に経験することができる病院です。山間豪雪地ならではの疾患も数多く経験できます。当院は20名余りの精鋭部隊ですが、皆大変仲が良く、科の垣根を越

えて和気藹々と楽しく日々の診療に臨んでいます。また過去8年間切れ目なく、熱意のある研修医の先生方を受け入れています。研修開始後も、それぞれの希望に沿った研修ができるように柔軟にスケジュール調整も行っており、高次機能病院など多くの協力型病院があるので掛け持ちも可能です。

## 越後妻有 大地の良医育成臨床研修プログラム

### 【雪国伝統研修(伝雪コース)】研修ローテーション(例)

例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(一般外来研修) 24週						救急部門 12週			外科 4週		小児科 4週
2年次	精神科 4週		産婦人科 4週		地域医療(一般外来研修) 4週		整形外科 8週		自由選択 40週			

※必修科目:内科(24週)、救急(12週)、外科(8週)、小児科(8週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、地域医療(8週)、整形外科(8週)、一般外来(内科研修、地域医療研修と並行研修)

### 【雪国革新研修(新雪コース)】研修ローテーション(例)

例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1年次	救急部門 4週				内科 24週				外科 8週		小児科 8週		精神科 4週		産婦人科 4週
2年次	整形外科 8週		救急部門 8週		地域医療 8週		自由選択・一般外来 28週								

※必修科目:内科(24週)、救急(12週)、外科(8週)、小児科(8週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、地域医療(12週)、整形外科(8週)、一般外来(内科研修、地域医療研修と並行研修)

### 【雪国革新研修(融雪コース)】研修ローテーション(例)

例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内科 24週(福岡徳洲会病院)						外科 8週(福岡徳洲会病院)		小児科 8週(福岡徳洲会病院)		救急部門 12週(福岡徳洲会病院・十日町病院)		
2年次	産婦人科 4週		精神科 4週		地域医療 8週		整形外科 8週		自由選択・一般外来 28週				

※必修科目:内科(24週)、救急(12週)、外科(8週)、小児科(8週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、地域医療(12週)、整形外科(8週)、一般外来(内科研修、地域医療研修と並行研修)

### 【雪国革新研修(骨雪コース)】研修ローテーション(例)

例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1年次	内科 24週						救急部門 12週			整形外科 8週		精神科 4週		産婦人科 4週
2年次	外科 4週		小児科 4週		整形外科 8週		地域医療 8週		自由選択・一般外来 28週					

※必修科目:内科(24週)、救急(12週)、外科(4週)、小児科(4週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、地域医療(8週)、整形外科(16週)、一般外来(内科研修、地域医療研修と並行研修)

## 研修環境



十日町市は、美しい自然と米・そば・酒など豊かな食に恵まれた土地です。病院周辺にはおいしいお店がたくさんあり、夜の研修も楽しいです。楽しく頑張れる環境が揃っています。※十日町市役所では年額100万円の研究資金貸与制度を実施しています。十日町病院で1年間勤務すると返還が免除されます。



プログラム責任者  
副院長  
角道 祐一



## 救急研修の特徴

- 常勤医の数は多くありませんが、その分病院全体が一つのチームとして研修医を指導し育てて行こうという気概にあふれています。
- 大病院と異なり科の隔たりがないので、気軽に他科へのコンサルテーションができる体制になっています。
- ライバルの研修医が少ないので、症例の取り合いになることは(ほとんど)ありません。

- 当直時間帯は上級医が必ず院内に待機、もしくは一緒に診察するので、安心です。
- 研修医と指導医が毎週持ち回りで講師を担当する勉強会(プライマリレクチャー)を行っています。自己学習能力やプレゼンテーション能力が自然に身につきます。
- 学会参加も積極的にしています。

整形外科部長 倉石 達也

## 協力病院・協力施設

雪国伝統研修(伝雪コース)	
地域医療	●新潟県立まつだい診療センター ●魚沼市立小出病院 ●南魚沼市民病院 ●湯沢病院 ●津南病院 ●滋賀家庭医療学センター
精神科	●新潟県立精神医療センター ●魚沼基幹病院
自由選択	●新潟大学医学総合病院 ●魚沼基幹病院 ●新潟県立中央病院 ●新潟県立新発田病院 ●新潟県立がんセンター ●糸魚川総合病院 ●済生会新潟県中央基幹病院 ●柏崎総合医療センター ●新潟県庁

雪国革新研修(新雪コース)	
地域医療	●新潟県立まつだい診療センター ●魚沼市立小出病院 ●南魚沼市民病院 ●湯沢病院、津南病院
精神科	●新潟県立精神医療センター ●魚沼基幹病院 ●新潟大学医学総合病院 ●新潟県立新発田病院
自由選択	●新潟大学医学総合病院 ●魚沼基幹病院 ●新潟県立中央病院 ●新潟県立新発田病院 ●新潟県立がんセンター ●済生会新潟県中央基幹病院 ●柏崎総合医療センター ●新潟県庁

雪国革新研修(融雪コース)	
内科、救急、外科	●福岡徳洲会病院 ●東京西徳洲会病院
小児科	●福岡徳洲会病院
産婦人科	●福岡徳洲会病院 ●魚沼基幹病院
地域医療	●新潟県立まつだい診療センター ●魚沼市立小出病院 ●南魚沼市民病院 ●湯沢病院 ●津南病院 ●滋賀家庭医療学センター
精神科	●新潟県立精神医療センター ●魚沼基幹病院
自由選択	●福岡徳洲会病院 ●東京西徳洲会病院 ●新潟県立十日町病院 ●新潟大学医学総合病院 ●魚沼基幹病院 ●新潟県立中央病院 ●新潟県立新発田病院 ●新潟県立がんセンター ●済生会新潟県中央基幹病院 ●柏崎総合医療センター ●新潟県庁

雪国革新研修(骨雪コース)	
地域医療	●新潟県立まつだい診療センター ●魚沼市立小出病院 ●南魚沼市民病院 ●湯沢病院 ●津南病院
精神科	●新潟県立精神医療センター ●魚沼基幹病院 ●新潟大学医学総合病院 ●新潟県立新発田病院
自由選択	●新潟県立十日町病院 ●新潟大学医学総合病院 ●魚沼基幹病院 ●新潟県立中央病院 ●新潟県立新発田病院 ●新潟県立がんセンター ●済生会新潟県中央基幹病院 ●柏崎総合医療センター ●新潟県庁

令和9年度から3コースを  
新設の一般コースに統合します。

## 指導医メッセージ

Message from the Supervising Physician



院長  
清崎 浩一

H. Kiyozaki

当院の研修の特徴は各診療科の垣根が低いことです。そのため横断的な研修が可能で、例えば内科ローテーション中であっても担当した症例が、外科手術になった場合には手術に立ち会い更にその後の療養に至るまで関与することができます。したがって、診断から治療、その後の経過まで診療科を横断して一貫して学ぶことができます。その中で自分が将来目指す道も見てくるかと思われま。ぜひ、私たちと一緒に学んでみませんか。



内科部長  
廣田 菜穂子

N. Hirota

当院では救急外来や内科外来など、紹介状なく飛び込みで来られる患者さんが非常に多いため、common diseaseの中から緊急性の高い疾患や入院治療が必要な疾患を鑑別する能力が求められます。また地域の特性上、在宅調整や退院調整などが必要な方も多く、社会的背景を考慮しながらの治療も必要になることが多いです。高度医療はできませんが、医師として学ぶべきことは多くあると思います。患者さん家族に頼られる医師になれるよう一緒に頑張りましょう!

## 臨床研修リクルートサイトを開設しました。

<https://www.tokamachi-hosp-niigata.jp/training/index.html#contents-list>



## 2027年度募集案内

募集人員	新設の一般コース 3名 融雪コース 2名	応募締切	2026年8月末日
選考方法	面接	面接日	随時(相談に応じます)
申込書類	臨床研修申込書、履歴書 病院ホームページ <a href="https://www.tokamachi-hosp-niigata.jp/">https://www.tokamachi-hosp-niigata.jp/</a> からダウンロードできます。	応募先	新潟県立十日町病院 庶務課 TEL 025-757-5566 mail shomu@tokamachi-hosp-niigata.jp

新潟県立十日町病院

<https://www.tokamachi-hosp-niigata.jp/>

# 新潟県立 がんセンター新潟病院 臨床研修プログラム

複雑化・高度化するがん治療の最前線で  
チーム医療の一員に。

がんの診療と研究に重点をおき、総合診療機能も完備した病院

当院では「都道府県がん診療連携拠点病院」として多くの症例を有するなか、ゲノム医療や治験など最先端の医療技術はもちろん、患者さんの社会的、心理的な面までもを包括する「全人的な医療」を提供しています。また、がんの診断から治療後にわたって困難な病態と対峙する患者さんの

課題に対応するため、多くの部門が関わる「チーム医療」を実践しています。日々の研修では、内視鏡・エコー・手術・処置など、研修医の皆さんの「やりたい!」に応える環境とサポート体制があります。“がん”を切り口としてチーム医療を学びながら、医師としての礎を築いていきませんか?

## 研修ローテーション例

	当院		協力病院	
1年目	内科 24週		麻酔科 4週	外科 8週
			救急 12週	小児科 4週
2年目	産婦人科 4週	精神科 4週	一般内科 4週	地域医療 6週
	自由選択 20週		自由選択 14週	

## 研修環境



研修医室



図書室



がんセンター新潟病院の立地

【居室】 研修医専用の研究室に机、更衣室、冷蔵庫、電子レンジ等あり  
【インターネット環境】 各自の机からインターネット接続可能。研修医室内にWi-Fi環境あり

新潟駅から二駅のJR「白山駅」又はバス停「がんセンター前」から徒歩1分。新潟市の中心部にあり、生活の利便性が高く研修後のリフレッシュにも最適の環境です。

## 研修を支える体制

- 充実したチーム医療、指導医体制で、双方向性のコミュニケーションを図ります。
- 研修中にプログラムの変更希望があった場合、柔軟に対応します。

## 協力病院・協力施設

救急	●魚沼基幹病院 ●県央基幹病院 等 計14病院
産婦人科/小児科	●済生会新潟病院 ●魚沼基幹病院 等 計14病院
精神科	●県立新発田病院 ●河渡病院 等 計4病院
地域医療	●県立津川病院 ●県立まつだい診療センター 等 計2病院4診療所



院長  
田中 洋史

## がん専門病院ならではの重点プログラム

がん治療の4つの柱である「手術療法」「放射線治療」「薬物療法」「緩和療法」でエキスパートが揃っており、基本プログラムの他にも下記の重点プログラムを用意しています。救急など当院で研修出来ない必修科目については、多様性に富んだ臨床研修病院群から希望にあった研修病院を選択できます。(詳細はHP参照)

- 緩和ケア重点コース
- 総合消化器内科・基本手技(内視鏡・超音波等)アドバンスコース
- 放射線画像診断・治療重点コース

## 産業医資格を初期臨床研修期間に取得する 「産業医取得・臨床研修コース」

令和7年度から初期研修期間中に産業医資格を取得できるコースを新設しました。初期研修2年目に、医師会での実地研修や新潟県庁でのインターンを含む選択科目「保健医療行政」を4週間研修し、日医認定産業医資格申請に必要な50単位を取得します。

## 指導医メッセージ

Message from the Supervising Physician

### M. Kobayashi

がん専門病院であることが他の研修病院にはない当院の特徴です。各自の目標や興味、将来設計に合わせて、ゆとりのある研修ができます。豊富な症例と充実したスタッフが、みなさんのエントリーを心からお待ちしています。



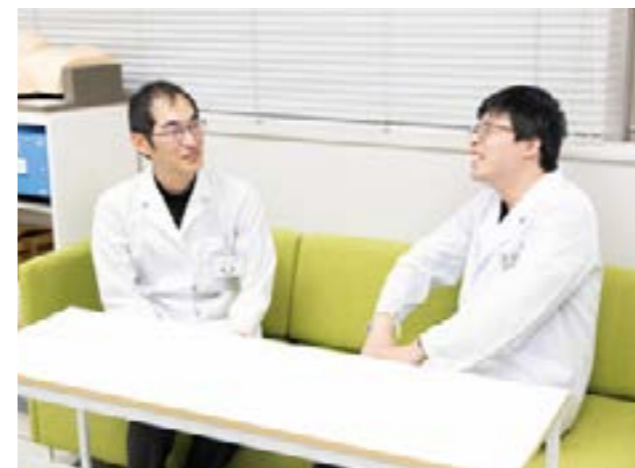
副院長 小林 正明

## 2027年度募集案内

新潟県立がんセンター  
<https://www.niigata-cc.jp/>

募集人員	8名(予定)
選考方法	面接
申込書類	研修申込書、面接希望日届出書、履歴書、身上申告書 病院ホームページ <a href="https://www.niigata-cc.jp/">https://www.niigata-cc.jp/</a> からダウンロード できます。
応募締切	定員に達するまで
面接日	随時
応募先	新潟県立がんセンター新潟病院 庶務課 TEL 025-266-5111 mail kensyu@niigata-cc.jp

皆さんが当院の医療に参画されることを熱望しています。



# 研修医に聞きたいこと

## 新潟県立 新発田病院



**Q** 病院のいいところをひとこと言うと？

**A** 症例の多様さ  
新発田病院では、一次疾患から三次疾患まで非常に幅広い疾患を経験できます。重症患者さんであっても、途中で担当を外れることなく最後まで関わり、急性期診療を間近で学べる点は、研修医としてとても貴重な経験だと感じています。新発田病院での初期研修の2年間は、確実に自分を成長させてくれる、密度の濃い2年間になると思います。

土屋 沙樹(1年次)



**Q** 1年次のある1日のスケジュールを教えてください

時間	スケジュール(産婦人科)
7:50	出勤、カルテ確認
8:00~8:30	モーニングカンファレンス
8:40~9:00	産婦人科カンファレンス
9:00~9:30	回診
9:30~11:30	昼休憩(研修医室で手技練習、勉強、サマリー作成等)
11:30~12:30	化学療法・手術予定患者の点滴ルート確保、退院時診、病棟処置
12:30~17:15	手術
17:30	帰宅



病院の  
おすすめ  
ポイント

一番の魅力は一次~三次まで幅広い症例が経験できる救急外来です。診療科も多く、研修中に志望の診療科が変わる研修医もたくさんいます。また積極的に手技をやらせていただけるため自信につながります。

金子 夏穂(1年次)

## 新潟県立 十日町病院



**Q** 病院のいいところをひとこと言うと？

**A** “距離が近い”こと  
十日町病院は、診療科や職種の垣根が低く、分からないことをすぐに相談できる雰囲気があります。研修医でも「まずやってみる」を大事にしてきて、上級医が近くで見守りながら、手技や考え方を丁寧にフィードバックしてくれます。救急から入院まで一連の流れを経験できるので、患者さんを総合的に診る力が身につけやすいのも魅力です。

中川 陽介(1年次)



**Q** 1年次のある1日のスケジュールを教えてください

時間	スケジュール(小児科)
8:30	出勤
8:30~9:00	受け待ち患者の情報収集(カルテ/検査/画像・申し送り確認)
9:00~12:00	病棟回診・指示だし、救急対応(当番日)/外来補助など
12:00~13:00	昼休憩(医局で相談、勉強、食など)
13:00~16:30	救急対応/処置・手技、検査結果フォロー、コンサルタント対応
16:30~17:15	夕回診・入退院の共有、翌日の方針確認
17:15~18:00	振り返り(学びメモ)、勉強会準備、サマリー作成など
18:00	帰宅orごはん会

病院の  
おすすめ  
ポイント

どの職種とも距離が近く、質問や相談がしやすい環境です。「やってみよう」を普段から伝えておくと、他科ローテでも声をかけてもらえて、手技や症例の経験につながるのが十日町病院の良さだと思います。

## 新潟県立 中央病院



**Q** 病院のいいところをひとこと言うと？

**A** 挑戦を支える支援体制  
三次救急=修羅場というイメージとは裏腹に穏やかな環境です。質問しやすい上級医ばかりで、夜間でも放射線科医にCT読影を依頼できるなどバックアップも万全。守られている安心感があるからこそ、積極的に挑戦できています。

泉田 拓哉(1年次)



**Q** 1年次のある1日のスケジュールを教えてください

時間	スケジュール(循環器内科)
8:00~8:30	循環器内科カンファレンス
8:30~9:00	病棟業務
9:00~12:00	カテーテル
12:00~13:00	昼食
13:00~16:00	カテーテル
16:00~17:15	病棟業務



病院の  
おすすめ  
ポイント

第3医局は研修医と若手専攻医のみが利用します。リラックスできるソファや個人デスクがあり、休憩にも勉強にも良い環境です。診療やキャリアの悩みがあれば気軽に相談することができる雰囲気なのも魅力です。

笠原 夏実(1年次)

## 新潟県立 がんセンター新潟病院



**Q** 病院のいいところをひとこと言うと？

**A** 専門性の充実  
がんセンターではがんに対する診断、治療、またその後のケアに携わることでがん診療の流れを途切れなく学ぶことができます。がん診療に携わるそれぞれの診療科や職種の視点を体験できるため、将来進む診療科に関わらず身になる研修が当院の魅力です。

2年次研修医



**Q** 1年次のある1日のスケジュールを教えてください

時間	スケジュール(呼吸器内科)
8:30	出勤
8:30~9:00	朝回診(情報の記録、カルテの確認)
9:00~9:30	病棟業務(採血、ルート、オーダーなど)
9:30~12:00	ブロンコスコピー(実際に操作できる)
12:00~13:00	昼休憩
13:00~15:30	EBUS-TBNA(実際に操作できる)
15:30~17:00	病棟業務(夕回診、指導医との情報共有、カルテの記録)
17:00~17:30	タカンファ(画像評価、レジメンの検討など)
18:00	帰宅

病院の  
おすすめ  
ポイント

一番の魅力は、基本検査・処置手技を実践で積み上げられることです。がん診療の現場で幅広い症例に触れながら、採血・穿刺・画像評価に加えて内視鏡手技も段階的に経験し、毎日のフィードバックで確実に定着。ローテの自由度も高く、志望科も早期から相談できます。

1年次研修医

# 1・2年次の研修プログラム

## 新潟県立 新発田病院



**Q** 研修してよかった点、  
病院のおすすめポイント

**A** 新潟県北地域の基幹病院であり、県内屈指の救急車受け入れ台数を誇ります。当院では1次救急から3次救急まで多くの症例を経験し、特に救急外来では研修医がファーストタッチする機会が多いため、診療方針や必要な検査を主体的に考えられるようになります。また、スーパーローテーション制のため、どの科に進んでも使える幅広い知識を得られる点も魅力です。

渡邊 千晶(2年次)

**Q** 印象に残っている研修は？

### 外科

当院外科は、開腹手術および腹腔鏡手術の症例数がともに豊富です。それぞれの分野で技術が洗練されており、手術によって患者の回復を実感できる点が魅力的だと感じました。



### 1・2年次の研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	診療科/研修科目 消化器内科	呼吸器内科	腎臓/代謝内科	血液内科	救急科	循環器内科	小児科	脳神経内科	放射線科	産婦人科		
研修期間	6週	5週	5週	5週	5週	5週	5週	6週	5週	5週		
研修病院	新発田病院											
2年次	診療科/研修科目 外科	地域医療(一般外来)	地域医療(一般外来)	脳神経外科	整形外科	麻酔科	精神科	外科	心臓血管外科	呼吸器外科		
研修期間	6週	5週	5週	5週	5週	5週	5週	7週	4週	5週		
研修病院	新発田病院	十日町病院/松代病院	坂町病院	新潟県立新発田病院								

## 新潟県立 十日町病院



**Q** 研修してよかった点、  
病院のおすすめポイント

**A** 内科ローテーションでは新患外来および入院患者の主治医を務め、外科・整形外科ローテーションでは執刀医を経験しました。責任ある判断を求められる場面で悩むことも多くありましたが、その一つ一つが学びとなり、確かな成長を実感しています。

阿部 紘平(2年次)

**Q** 印象に残っている研修は？

### 小児科

救急外来で小児を診ることも少なくありませんし、小児科ローテーションでは外来研修および入院主治医をしました。大人とは異なる点も多く、ある程度自信がいったと感じた直後に難しさに直面することを繰り返しながら、経験を積むことができました。



### 1・2年次の研修スケジュール(融合コース)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1年次	診療科/研修科目 カレントン(呼吸器内科)	内科(呼吸器内科)	選択麻酔科	休	救急	内科	小児科	内科(循環器内科)	内科(心療内科)	休	救急	産婦人科	休	内科
研修期間	6週	8週	4週	3週	8週	5週	4週	4週	3週	5週	4週	4週		
研修病院	福岡徳洲会病院													
2年次	診療科/研修科目 外科	地域医療	小児科	内科	精神科	救急	地域医療	外科	整形外科	小児科(選択)				
研修期間	4週	8週	3週	4週	4週	2週	4週	4週	8週	9週				
研修病院	十日町病院	津南病院	十日町病院	十日町病院	魚沼基幹病院	十日町病院	湯沢家庭医学センター地域医療	十日町病院						

## 新潟県立 中央病院



**Q** 研修してよかった点、  
病院のおすすめポイント

**A** 上越地域唯一の三次救急病院であり、軽症から重症まで様々な症例を経験できます。また、多くの診療科が揃っており、長い自由選択期間を活かして進路に合わせた自由なローテーションを組むことが可能です。当直は2年目研修医と一緒に入り、上級医2人がつづため、安心感があります。全体的にバランスの良いプログラムだと思います。

伊藤 伸悟(2年次)

**Q** 印象に残っている研修は？

### 総合診療科

診断が困難な症例や、複雑な社会背景を持つ症例への対応を経験できます。疾患知識だけでなく、目の前の患者さんに対する最適なアプローチは何かを考える力が身につきます。



### 1・2年次の研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	診療科/研修科目 消化器内科	総合診療科	救急科	小児科	脳神経内科	呼吸器内科	整形外科	精神科	外科	救急科	循環器内科	
研修期間	5週	4週	4週	4週	5週	5週	4週	4週	5週	4週	8週	
研修病院	新潟県立中央病院											
2年次	診療科/研修科目 麻酔科	総合診療科	救急科(ICU)	放射線診断科	地域医療研修	血液内科	産婦人科	内分泌・代謝内科	腎・膠原病内科	呼吸器内科		
研修期間	5週	8週	4週	4週	5週	5週	4週	5週	4週	7週		
研修病院	新潟県立中央病院											

## 新潟県立 がんセンター新潟病院



**Q** 研修してよかった点、  
病院のおすすめポイント

**A** 当院は、がん診療に特化しており、目標とする診療科が決まっている方におすすめできます。研修スケジュールの自由度が高く、自身の希望に応じて診療科で研修をすることができます。各1人ずつの研修となることが多いので、症例の取り合いになるようなことはありません。また立地も非常に良く、プライベートも充実しています。

2年次研修医

**Q** 印象に残っている研修は？

### 放射線科

診断科では指導医からの丁寧なフィードバックのもとで読影スキルを身につけることができます。治療科では県内でも限られた施設で行われる治療など、様々な症例を経験することができます。



### 1・2年次の研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	診療科/研修科目 呼吸器内科	血液内科	消化器内科	放射線科	麻酔科	救急	呼吸器外科	消化器外科	精神科			
研修期間	8週	4週	5週	7週	4週	8週	4週	4週	4週			
研修病院	がんセンター新潟病院											
2年次	診療科/研修科目 緩和ケア内科	産婦人科	小児科	脳神経外科	放射線科	地域医療・一般外来	腎臓内科	糖尿病・内分泌内科	頭頸部外科	婦人科	放射線科	
研修期間	6週	4週	4週	4週	4週	8週	4週	4週	4週	4週	4週	
研修病院	がんセンター新潟病院	柏崎総合医療センター	がんセンター新潟病院	がんセンター新潟病院	県央基幹病院	ときわ診療所	信楽園病院		がんセンター新潟病院			

# 新潟県立病院の研修施設

## 01 新潟県立坂町病院 新潟県村上市下鍛冶屋589

地域医療(新発田)

■病床数99床(一般)

当院は、新潟県北部・下地域域の地域密着型病院です。強化型在宅療養支援病院として24時間の看取りを含む訪問診療を実施しています。地域包括ケア病床の運用など、地域の高齢化に対応した医療の提供とともに、福祉・介護関係者との連携にも努めています。

## 02 新潟県立新発田病院 新潟県新発田市本町1-2-8

基幹型

■病床数519床(一般470、精神45、感染症4)



## 03 新潟県立がんセンター新潟病院 新潟県新潟市中央区川岸町2-15-3

基幹型

■病床数367床(一般)



## 04 新潟県立津川病院 新潟県東蒲原郡阿賀町津川200

地域医療(がんセンター)

■病床数42床(一般)

福島県との県境・阿賀町唯一の病院として、過疎・高齢化という地域の課題に対し、地域と連携して在宅生活を支える医療、出向く医療に真正面から取り組んでいます。無医地区への巡回診療、訪問診療、集落を回って住民と地域医療について話し合う勉強会など貴重な研修を経験できます。

## 05 新潟県立精神医療センター 新潟県長岡市寿2-4-1

選択必修:精神科(十日町)

■病床数400床(精神)

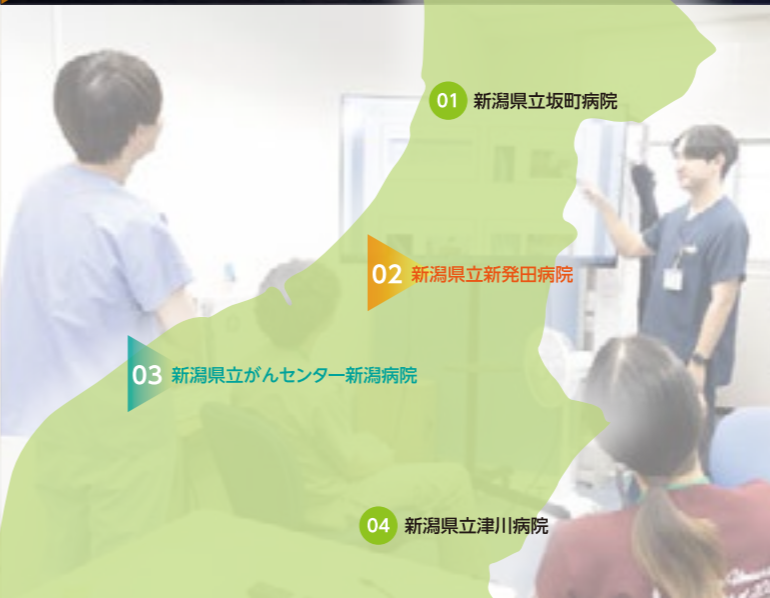
当院は、新潟県の精神科医療の基幹病院です。児童精神科、精神科救急・急性期治療、重度かつ慢性期、アルコール依存症や司法精神医学などの専門的治療を軸に、多職種と連携しながら、良質な精神科医療を目指した密度の濃い研修が可能です。

## 03 新潟県立がんセンター新潟病院



## 12 新潟県立中央病院

## 02 新潟県立新発田病院



## 07 新潟県立十日町病院

## 06 新潟県立まつだい診療センター 新潟県十日町市松代3592-2

地域医療(十日町・がんセンター・新発田)

この4月から病棟を廃止し、まつだい診療センターとして生まれ変わりました。入院機能はなくなりましたが、当地域の医療の中核である事は変わりません。交通手段が限られた高齢者が多い中、域内で医療が完結するように多彩な疾患を診療できる事、他の高次病院との連携を密にする事が大切です。一緒に学んで行きましょう。

## 07 新潟県立十日町病院 新潟県十日町市高田町3丁目南32-9

基幹型

■病床数250床(一般)



## 08 新潟県立柿崎病院 新潟県上越市柿崎区柿崎6412-1

地域医療(中央)

■病床数55床(一般)

新潟県上越市北部の柿崎区、大潟区、吉川区を診療圏として、プライマリケア、救急医療、訪問診療・看護・リハビリなどの地域医療を提供しています。研修では、これらの医療に携わり地域医療全般を経験します。常勤医のバックアップのもとで日直・宿直も担当します。

## 09 新潟県立中央病院 新潟県上越市新南町205

基幹型

■病床数530床(一般524、感染症6)



## 10 新潟県立妙高病院 新潟県妙高市田口147-1

地域医療(中央)

■病床数47床(一般)

新潟県妙高市(妙高高原・妙高地区)、長野県信濃町を診療圏とし、上越医療圏の基幹病院をはじめとする地域の医療機関と連携して、プライマリケアからターミナルケアまで地域医療を提供しています。リハビリ医療や在宅医療を重視した地域密着型医療実践病院です。

# 新潟県立病院の専門研修プログラム

新潟県立病院で専門医を目指す

## 内科専門研修プログラム

### 新潟県立新発田病院 内科専門研修プログラム

**特色** 新潟県北部・下越医療圏の中心的な急性期病院である新発田病院を基幹施設として、下越医療圏および近隣医療圏の連携施設での内科専門研修を経て、新潟県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療を行えるよう、基本的臨床能力獲得後は必要に応じた可塑性のある内科専門医として新潟県全域を支える内科専門医の育成を行います。

**連携施設** 新潟大学医学総合病院、新潟県厚生連村上総合病院、新潟県立坂町病院、あがの市民病院、南魚沼市民病院

#### 指導医メッセージ

本プログラムでの3年間(基幹施設2年間+連携施設1年間)に、豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下、内科専門医制度研修カリキュラムに定められた内科領域全般にわたる研修を通じて、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能を修得します。



新潟県立新発田病院  
副院長  
田邊 嘉也

### 新潟県立中央病院 内科専門研修プログラム

**特色** 新潟県南西部・上越医療圏内の連携施設および新潟市内の新潟大学医学総合病院での内科専門研修を経て、超高齢社会を迎えた我が国の医療事情を理解し、必要に応じた可塑性のある、地域の実情に合わせた実践的なスキルを養います。

**連携施設** 新潟大学医学総合病院、新潟県厚生連上越総合病院、新潟県立柿崎病院

#### 指導医メッセージ

地域医療、内科系救急医療、内科専門研修を通して、総合内科的視点をもった内科専門医の育成を目指します。またサブスペシャリティに重点を置いた研修も可能です。各分野の専門医が丁寧に指導しますので是非ともご応募ください。



新潟県立中央病院  
副院長  
船越 和博

### 新潟県立がんセンター新潟病院 内科専門研修プログラム

**特色** 全国がんセンター協議会加盟病院、都道府県がん診療連携拠点病院、日本臨床腫瘍学会認定研修施設である当院での集中研修によって、内科各サブスペシャリティ専門研修および臨床腫瘍学会専門医研修も可能であり、内科的がん診療を極めるに最適のプログラムです。

**連携施設** 新潟大学医学総合病院、魚沼基幹病院、新潟県立中央病院、新潟県立津川病院

#### 指導医メッセージ

研修の特色は、内科各分野サブスペシャリティ専門研修と同時進行で、がん診療研修が可能です。日本人の死因第一である悪性疾患の早期診断・治療介入、緩和ケアを研修可能な本プログラムに多数の若き医師が参加することに期待します。



新潟県立がんセンター新潟病院  
副院長  
小林 正明

### 新潟県立十日町病院 内科専門研修プログラム

**特色** 当院は魚沼医療圏の中心的な急性期病院の一つです。当院を基幹施設として、魚沼医療圏、隣接する上越・中越医療圏、ならびに連携実績のある施設での内科専門研修を経て、新潟県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた柔軟で実践的なスキルを養います。疾病構造に合った内科系疾患をファーストタッチから経験できだけでなく、generalからspecialまで希望に応じた研修が可能です。

**連携施設** 新潟大学医学総合病院、立川総合病院、柏崎総合医療センター、魚沼基幹病院、魚沼市立小出病院、南魚沼市民病院、新潟県立がんセンター新潟病院、新潟県立まつだい診療センター

#### 指導医メッセージ

当院内科は細分化こそされていませんが、各領域(腫瘍、消化器、呼吸器、代謝内分泌、神経、救急など)のスペシャリスト達でバランスよく構成されています。臨床研修を終え、自分の目指す医師像とは、新潟県の地域を支える内科医の姿とはどんなものか、そんな疑問に対してお答えができるかも知れません。



新潟県立十日町病院  
診療部長  
角道 祐一

## 総合診療専門研修プログラム

### 新潟県立中央病院 総合診療専門研修プログラム

**特色** 当プログラムの最大の特色は、三次救急を担う高度急性期病院に在りながら、総合診療・家庭医療を臨床現場で学び、実践する点にあります。専門分化された医療の狭間にある症例、科横断的な問題や多疾患併存のマネジメント、整形外科コマネジメントを実践する中に、家庭医療理論を導入。高度医療と生活モデルを統合し、病院管理から地域医療システムまでを俯瞰する、広域基幹病院ならではのハイブリッドな学びの場を提供します。

**連携施設** 新潟県立柿崎病院、新潟県立妙高病院、新潟県立まつだい診療センター、新潟県立津川病院、新潟県立十日町病院、新潟県立新発田病院(精神科)、新潟県立がんセンター新潟病院(皮膚科)、新潟県立精神医療センター、佐渡市立両津病院、新潟県厚生連佐渡総合病院、あさひ総合病院(富山)、かみいち総合病院(富山)、魚沼市立小出病院、湯沢町保健医療センター、清華ファミリークリニック、新潟県厚生連けいなん総合病院(小児科)、塚田こども医院、(以下2027年度連携予定)新潟大学医学総合病院(救急科)、済生会新潟県中央基幹病院(総合診療科、救急科)、新潟市民病院(救急科)

#### 指導医メッセージ

新・家庭医療専門研修プログラムと病院総合診療専門研修プログラムの連動がスタートし、シームレスなキャリア形成が可能となりました。当科では個性豊かな3名の指導医が、それぞれの視点を活かしてチームで教育にフルコミットしています。「つながって、楽しい。」を合言葉に、高度医療の現場で共に地域の未来を創る、志ある仲間を心待ちにしています。



新潟県立中央病院  
内科部長  
古川 俊貴

### 新潟県立十日町病院 総合診療専門研修プログラム

**特色** 当プログラムは総合診療18か月、内科12か月、救急3か月、小児科3か月の計3年間のプログラムです。時間外症例8,000件(救急車2,200件/年)の豊富な救急症例に対し、中規模病院だからこそできる科の垣根を越えた全人的な研修ができます。

**連携施設** 新潟大学医学総合病院、魚沼基幹病院、新潟県立新発田病院、新潟県立中央病院、新潟県立坂町病院、新潟県立吉田病院、新潟県立津川病院、新潟県立柿崎病院、新潟県立妙高病院、新潟県立まつだい診療センター、津南町立津南病院、魚沼市立小出病院

#### 指導医メッセージ

当院は新患の受け入れが多いため、トリアージ能力やマネジメント能力が飛躍的に向上します。救急業務は当番制なのでon-offがしっかりしており、休養・休暇もしっかりとれます。近隣にはおいしいお店もたくさんあります。この魅力的な地域で一緒に働いてくれる方を大募集しています。



新潟県立十日町病院  
診療部長  
齋藤 悠

## 麻酔科専門研修プログラム

### 新潟県立中央病院 麻酔科専門研修プログラム

**特色** 当プログラムでは麻酔科専門研修の基幹施設として各連携施設との協力のもとに研修を行います。すべての年齢層のあらゆる疾患を対象としており、偏りのない麻酔経験ができます。救命救急センターも有し、重症例の緊急手術も多く、救急・集中治療の研鑽も十二分に積むことができます。

**連携施設** 専門研修連携施設A(新潟大学医学総合病院、新潟県立新発田病院、新潟県立がんセンター新潟病院、新潟市民病院、済生会新潟病院、新潟県厚生連長岡中央総合病院)、専門研修連携施設B(長岡赤十字病院、魚沼基幹病院)

#### 指導医メッセージ

上越市の医療圏は30万人〜です。(いやでも)ありとあらゆる症例を相当数経験します。必ず短期間で自分の成長が実感できる充実した研修を送ることができます。そして、すぐに即戦力麻酔科医として、私たちの同僚として働いていただくことになると思います。ぜひ、この地で共に学んでいきましょう。



新潟県立中央病院  
麻酔科部長  
渡邊 逸平

## 外科専門研修プログラム

### 新潟県立中央病院 外科専門研修プログラム

**特色** 当プログラムでは、地域の基幹病院としての豊富な症例と地域連携を生かした研修により、外科専門医に求められる全ての要素を身に着けたバランスの取れた外科医の育成を目指しています。また、連携施設群の病院には、専攻医研修プログラム基幹病院や地域の中核病院、さらに地域医療を主体とする病院なども含まれています。

**連携施設** 魚沼基幹病院、新潟県厚生連佐渡総合病院、新潟県厚生連糸魚川総合病院、新潟県立十日町病院、新潟県厚生連上越総合病院、新潟県立がんセンター新潟病院、新潟市民病院、新潟大学医学総合病院、新潟県立新発田病院、長岡赤十字病院、新潟県厚生連長岡中央総合病院、新潟県厚生連柏崎総合医療センター、立川総合病院、済生会新潟県中央基幹病院

#### 指導医メッセージ

当院は上越地域の医療の中心的な役割を担っており、一般的な疾患から専門性の高い疾患、救急疾患、外傷等バランスよく経験できます。サブスペ領域の指導医・症例は豊富であり、それぞれの専攻医のニーズに合った研修が可能です。



新潟県立中央病院  
外科部長  
鈴木 晋